

- クリチバ治安情報(クリチバ国際空港内におけるブラジル人麻薬密輸容疑者の逮捕)
- パラナ州治安情報(パラナグアにおける国際的麻薬犯罪組織の逮捕)

- クリチバ治安情報(クリチバ国際空港内におけるブラジル人麻薬密輸容疑者の逮捕)

5月10日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は、当地クリチバ国際空港(サン・ジョゼ・ドス・ピンヤイス市アフォンス・ペナ国際空港)において、連邦警察がブラジル人2人組を麻薬密輸容疑で逮捕した旨報じているところ、概要以下の通りお知らせいたします。

1. 5月9日午後4時頃、アフォンス・ペナ国際空港において出国時、挙動不審であったブラジル人2人組(男30歳及び女25歳)が連邦警察により麻薬密輸容疑で逮捕された。連邦警察は、スーツケース2個に分散された容器内に隠匿したコカイン(約5kg)を押収した。
2. 尚、容疑者はスペイン(イビサ島)向け航空券を所持していたが、連邦警察は最終目的地につき捜査中である。

- パラナ州治安情報(パラナグアにおける国際的麻薬犯罪組織の逮捕)

5月8日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は、パラナ州パラナグア市(港湾都市)において、連邦警察が国際的麻薬犯罪組織に関与する3人を新たに逮捕し、コカイン5.4トンを押収した旨報じているところ、概要以下のとおりお知らせいたします。

(当館注:なお、財務省の報道発表によると、平成23年の1年間に日本全国の税関による空港や港湾等における覚醒剤・大麻等の粉末状薬物の押収量は約509kg。)

1 5月6日、パラナグア市において連邦警察は、国際的麻薬犯罪組織に関与する3人(ブラジル人(パラナグア市に所在する海運業社マネージャー)、アルゼンチン人及びコロンビア人の各1名)を新たに現行犯逮捕し、コカイン約5.4トン、現金、車輦2台及び麻薬関連書類等を押収した。連邦警察によると、麻薬は乗船員により海外に密輸予定であった。

2 5月3日に実施された「デットライン作戦」と名付けられた連邦警察の作戦に加え、本件逮捕により、ブラジル国内港が国際的麻薬組織に利用されている旨証明された。連邦警察は、連邦政府による国際的麻薬犯罪に対する諜報活動に向けた投資の必要性につき言及した。